

第11回 イノシシとブタは同じように増えるのか？

農研機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域 堂山宗一郎氏

イノシシの繁殖に関しては、ブタの情報と混ざって伝わることも多く、注意が必要です。

イノシシは年に1度、4月から6月に母親1頭が平均4~5頭、最大8頭の子ども（ウリボウ）を産みます。しかし、10頭以上のウリボウを見た、イノブタになって10頭以上生むようになった、という話も聞きますが、これは間違いです。

イノシシのメスは、血縁関係のあるメス同士で暮らすこともあります。例えば、メス3頭の群れであれば、1頭あたり子ども4頭を産み、群全体では合計12頭の子どもが生まれることとなります。母親が違って同じ群れのウリボウ達は、子どもだけで混ざって遊んでいます。その光景を人間が見かけると、まるで1頭の母親が12頭も産んだと勘違いしてしまうでしょう。しかも、母親は警戒心が強く、なかなか人前に姿を見せないため確認することは難しいです。10頭以上のウリボウを見かけたら、間違いなく

母親は複数頭いると思ってください。

ブタの様に年に2回出産するイノシシがいる、という話もよく聞きますが、これには原因があります。春の出産に失敗したり、ウリボウが早くに死んでしまった場合、母親の授乳が止まってしまう。その状態になると母親には発情が戻ってくるため、春から夏に再び交尾をすることがあり、それによって秋にウリボウが生まれます。ですので、イノシシは年に2回出産することはありますが、2回ウリボウを育て上げているわけではないということです。

